

日本初!

アジアオリンピック評議会 (OCA) 「スポーツと環境賞」受賞!

アジアオリンピック評議会 (OCA/Olympic Council of Asia) が新たに創設した「スポーツと環境賞」において、「世界トライアスロンシリーズ横浜大会」の環境活動の取組が評価され受賞しました。

(1) 世界トライアスロンシリーズ横浜大会における主な環境活動 (※裏面及び参考資料)

- ア グリーントライアスロンの開催
- イ 海域環境改善
- ウ 水源林間伐材の有効活用
- エ 横浜ブルーカーボン事業との連携
- オ イベントマネジメントの国際標準規格 (ISO20121) の認証取得

(2) OCA「スポーツと環境賞」とは

OCAに加盟する45の国と地域において、スポーツ分野における優れた環境活動を行う個人または団体に対し、本年度から新設された表彰制度です。

今回は、日本を含め3か国 (日本/シンガポール/パキスタン) が受賞しました。

(3) 経緯

横浜大会の取組がITU (日本トライアスロン連合) として JOC (日本オリンピック委員会) より、OCAへ推薦されました。
トライアスロンの活動が日本代表として推薦され受賞が決定しました。

(4) 授賞式

第18回アジア競技大会OCA総会 (8月19日インドネシア・ジャカルタ) において開催され、横浜大会の代表者として、西山雄二市民局スポーツ統括室長が出席しました。



(左から)
大塚国際トライアスロン連合副会長/日本トライアスロン連合専務理事
齋藤日本オリンピック委員会副会長
西山横浜市市民局スポーツ統括室長
竹田日本オリンピック委員会会長
野端日本オリンピック委員会環境部会長



(左から二番目) Sheikh Ahmad Al-Fahad AL-SABAH アジアオリンピック評議会会長
(右) Kyung-Sun YU アジアオリンピック評議会環境部会長

(裏面あり)

※【世界トライアスロンシリーズ横浜大会における主な環境活動】

ア グリーントライアスロンの開催

2011年より毎年4月に山下公園をメイン会場として開催しており、「自然にやさしいトライアスロン大会」を目指して、スイム会場の海底清掃の実施、海の魅力のPRなどを行っています。



海中映像実況中継の様子



海底清掃で収集したゴミ



山下公園前海域に生息する海の生きものの展示

イ 海域環境改善

2007年から山下公園前面海域の水質改善の取組を行っています。

2009年にはスイムコースに水中スクリーンで仕切る実験を行い、赤潮や降雨時の汚水の影響を排除する取組を行いました。



2008年 海域の部分浄化実験



2009年 山下公園前海域の部分浄化実験（スイム競技会場）

ウ 水源林間伐材の有効活用

入賞者への木製メダル、記念盾等の作成で間伐材の有効活用を図っています。



（左側写真）
第8回横浜シーサイド
トライアスロン大会の
木製メダル

（右側写真）
2018ITU世界トライアスロン
シリーズ横浜大会のスポンサー
贈呈用の記念盾

エ 横浜ブルーカーボン事業との連携

大会開催において排出されるCO2を金額に換算し、参加者から集める環境協力金でオフセット（埋め合わせ）する取り組みを行っています。

オ イベントマネジメントの国際標準規格(ISO20121)の認証取得

2012年の大会で「ISO20121」を国内で初めて取得しました。環境への配慮・地域貢献(社会性)・地域経済への波及効果(経済性)等の影響に配慮した持続性の高いイベントとして、環境と社会に貢献しています。

お問合せ先

市民局 スポーツ振興課担当課長

福山 郁敏

TEL 045-226-5036

(公財) 横浜市体育協会 トライアスロン推進部長 金子 忠彦

TEL 045-680-5538

※お問合せや取材についてはトライアスロン推進部長までお願いいたします。